

しまし 議会だより

Shimashi
Gikai

臨時号

2019.12.15



正副議長のごあいさつ

活気ある、魅力ある、志摩市へ！

志摩市議会議長 濱口 三代和

この度、志摩市議会第15代議長に就任させていただきました。私自身、限りなく光栄に存じますとともに、その責任の重さをひしひしと感じている次第でございます。

本市におきましては、依然として厳しい財政状況ではありますが、活力と魅力にあふれ、安全で住みよいまちづくりを進めていくことが市民の皆様の一致した願いであるとの認識に立ち、その負託にこたえるべく、車の両輪である、議会と行政が一丸となって、前を向いて頑張っていく所存でございます。

今後とも市民の皆様のご理解とご協力、ご指導を賜りますようお願いいたします。

議員の責務を忘れず

志摩市議会副議長 大西 美幸

この度、志摩市議会副議長に就任させていただくこととなりました。

志摩市は伊勢志摩サミット後、平成30年6月、地域の活性化に先導的に取り組む“SDGs未来都市”に選定され、その目標に向かって私たち市民が幸せを感じるまちづくりを目指しています。

市民の代表である議員の責務を常に忘れず、希望ある未来を次世代に残すため、今後も議会と執行部がワンチームとなり頑張っていきますので、皆様のご理解・ご協力をお願いいたしまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

令和元年
第2回
臨時会

市の発展に向け 決意新たにスタート

令和元年 11 月 1 日の第 2 回臨時会において役員改選を行い、正副議長、議会選出監査委員、各委員および一部事務組合等議会議員を決定しました。

議長

濱口 三代和

副議長

大西 美幸

監査委員

下村 卓也

総務政策常任委員会（6 人）

政策推進部、総務部、市民生活部、出納室、議会事務局、監査委員事務局、選挙管理委員会、公平委員会および固定資産評価審査委員会の所管に関する事務並びに他の常任委員会に属さない事務について審査・調査を行う委員会

委員長 中村 和晃 副委員長 橋爪 政吉

委員 下村 卓也 渡辺友里夏 山下 弘 西崎 甚吾

教育厚生常任委員会（7 人）

健康福祉部、教育委員会および病院事業部の所管に関する事務について審査・調査を行う委員会

委員長 濱口 卓 副委員長 上村 秀行

委員 井上 幹夫 前田 俊基 大西 美幸 小河 光昭
坂口 洋

産業建設常任委員会（6 人）

産業振興部、建設部、上下水道部および農業委員会の所管に関する事務について審査・調査を行う委員会

委員長 野名 澄代 副委員長 山本 桂史

委員 中村 孝司 大口 秀和 金子 研世 谷口 覚

予算決算常任委員会（19 人）

予算および決算に関する事項について審査・調査を行う委員会

委員長 金子 研世 副委員長 前田 俊基

※委員は議長を除く全議員

議会運営委員会（7人）

定例会などの会期日程や議会運営に関する事項、議長の諮問に関する事項について審査・調査を行う委員会

委員長 山下 弘
副委員長 井上 幹夫
委員 前田 俊基 濱口 卓
中村 孝司 金子 研世
西崎 甚吾

議会広報特別委員会（7人）

議会の広報に関する調査・研究や編集を行う委員会

委員長 下村 卓也
副委員長 濱口 卓
委員 井上 幹夫 前田 俊基
橋爪 政吉 大口 秀和
坂口 洋

議会改革特別委員会（7人）

議会のあり方について調査・研究を行う委員会

委員長 小河 光昭
委員 山本 桂史 橋爪 政吉 上村 秀行 中村 和晃
野名 澄代 西崎 甚吾

一部事務組合等議会議員

志摩広域行政組合議会（6人）

井上 幹夫 前田 俊基
濱口 卓 渡辺友里夏
金子 研世 小河 光昭

志摩広域消防組合議会（6人）

山本 桂史 下村 卓也
中村 孝司 大西 美幸
野名 澄代 谷口 覚

鳥羽志勢広域連合議会（8人）

橋爪 政吉 大口 秀和 上村 秀行 中村 和晃
谷口 覚 山下 弘 坂口 洋 西崎 甚吾



議案の審議結果一覧

※紙面の都合上、議案名が省略され、正式名でないことがあります。

●全会一致で可決した議案等

(議会構成に係る選任・選挙を除く)

予算

議案第 31 号 令和元年度一般会計補正予算 (第 4 号)

その他

同意第 2 号 教育委員会委員の任命

同意第 3 号 監査委員の選任

同意第 4 号 公平委員会委員の選任

同意第 5 号 固定資産評価審査委員会委員の選任

同意第 6 号 固定資産評価審査委員会委員の選任

同意第 7 号 固定資産評価審査委員会委員の選任

同意第 8 号 固定資産評価審査委員会委員の選任

同意第 9 号 固定資産評価審査委員会委員の選任

人事

教育委員会委員、監査委員、公平委員会委員および固定資産評価審査委員会委員にそれぞれ次の方を任命・選任することに同意しました。

※敬称略

●教育委員会委員

濱口 茂之 (志摩町)

●監査委員

下村 卓也 (議会選出)

●公平委員会委員

山川 和子 (志摩町)

●固定資産評価審査委員会委員

東 忍 (大王町)

三橋 雄一 (阿児町)

中村 誠 (浜島町)

谷口 一馬 (志摩町)

小森 一久 (磯部町)

令和元年度 一般会計 補正予算

令和元年度一般会計補正予算 (第 4 号) は、付託された予算決算常任委員会で審査され、原案のとおり可決しました。なお、本会議においても同様の結果となりました。

主な内容

真珠養殖経営安定化支援事業

令和元年度、アコヤガイの大量へい死による被害により、母貝・稚貝の不足、事業継続のための資金不足が懸念されることから、養殖業者が行う運転資金の借り入れに対して利子補給などの支援を行うことにより、漁業経営の安定を図ります。県と市が2分の1ずつ負担を行います。

主な質疑

問 大量へい死の現状、被害の状況等把握していますか。

答 8 月下旬に養殖業者に対しアンケート調査を行い、252 件のうち 122 件の回答をいただいています。その中で、へい死の個数と率は、3 年貝が約 11 万 5000 個で 24%、2 年貝が約 30 万個で 23%、稚貝が約 167 万 7000 個で約 70% の結果となっています。

問 原因究明に向けてどのように対応しますか。

答 原因究明が今後の対策を講じるうえで、最も必要なことだと思えます。引き続き、国や県にもしっかりと要望していきます。



アコヤガイ被害状況現地視察の様子

令和元年度 一般会計補正予算 (第 4 号)

補正額

222 万円

予算総額

257 億 8380 万円

市民との意見交換会 議会報告会

～子どもたちの 健やかな成長を 願って～

志摩市議会では、10月25日、阿児アリーナで「市民との意見交換会・議会報告会」を開催しました。

この意見交換会は、議会の活性化と議会改革の一環として市民への説明責任を果たすために開催しています。今年度は、市の大きな課題である少子化対策・子育て支援について市民の皆様と意見交換するため、「子どもたちの健やかな成長を願って」をテーマに18名の参加をいただき、グループトークを行いました。

意見交換会では、前半・中盤・後半にわけてグループトークを行います。



意見交換会のようす

た。前半は市の子育て支援等に対して現在抱えている問題や課題、不便に感じる点について、中盤は課題等を克服するためにはどうしたらいいかについて、後半は皆様から出していただいた意見等をもとに、地域の人口減少を少なくするためには

どうすればよいと思うかについても意見交換を行いました。

今回いただいたご意見や反省点を踏まえながら、今後もよりわかりやすく身近な議会を目指していきます。

主な質疑・意見

現在の課題・問題点

- 子どもたちの現状、問題点、起こっていることを知りたい。
- 安全な通学路の確保ができていない。
- 放課後の遊び場所が少なく、地域の人口減少。
- 公園の管理が行き届いていないため、子どもと遊ぶことができない。
- 小児科・産婦人科がない。
- 市内に就きたい仕事がない。

課題の解決策

- 保護者、教員、地域の連携が重要である。

● 地域ぐるみで子どもを育てる環境づくりを具体化する。

● グリーンベルトの役割を広く訴えかける。

● 危険交差点の改良。

● 高齢者の力を借りた見守りを進める。

● 廃校になった体育館を活用できないか。

● 草刈りの回数を増やしてほしい。

● 有料道路の無料化で受診エリアを拡大する。

● 学校の特性を生かせる企業と協働する。

人口減少対策

● 子育ての充実だけでなく、働く場所づくりが必要。

● 医療の充実、学校給食の充実。

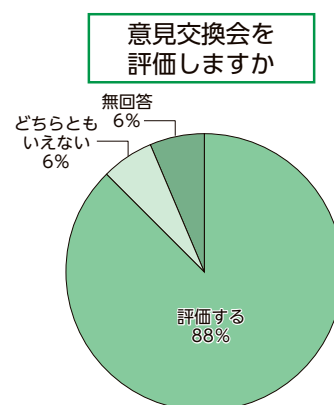
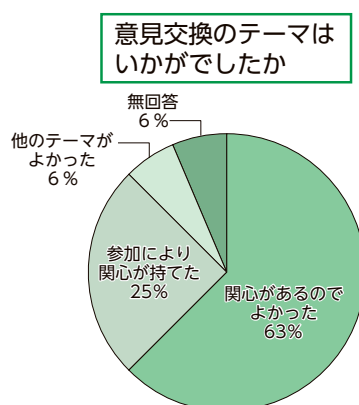
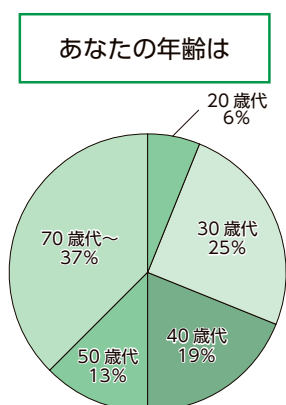
● 地域伝統を生かすとともに、後継者の育成に力を入れる。

● イベント活動に若者の参加を促し、若い力を生かす。

● 志摩市独自の産業高校、大学の誘致を行う。

アンケート集計結果 (回収率 88.9%)

貴重なご意見
どうもありがとうございました



主なご意見・ご感想 (抜粋)

- 直接議員と意見交換できるので現実的。
- 地域や年代によって多くの意見が出てよかった。
- 意見を言う場があることは良いこと。
- 話しやすくてよかった。
- テーマを決めるなら、対象を考えてほしい。
- 総合的な議論がしたい。

常任委員会管外研修レポート

総務政策・教育厚生・産業建設常任委員会の委員が、7月に2日間の日程で先進地を訪問し視察研修を行いました。先進地からヒントを得た各委員長の研究レポートを掲載します。

総務政策常任委員会

7/10
～11

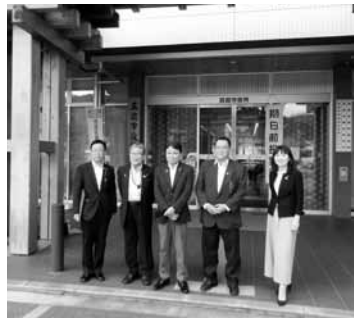
研修先

岡山県真庭市、京都府福知山市、
人と防災未来センター

自治体SDGsモデル の取り組みから学ぶ こと

真庭市

真庭市は、木質バイオマス発電の推進や生ごみなどから作るバイオ液肥を用いた農業振興など、現在実施している地域資源を活用した政策がSDGs未来都市の理念と重なり、取り組み自体も先導的であることから全国10の「自治体SDGsモデル事業」に選定されました。特に、PR事業や液肥化事業、貧困・障がい者対策、観光メニューではバイオマスツアー、ジビエツアー、自転車のまちづくりなどに力を入れていきます。



また、取り組みの課題として①地域資源を活用した「回る経済」の確立、②環境に配慮した経済活動を行うことのできる人材育成、③地域エネルギー自給率100%、木質資源活用によるCO2排出量削減があります。この3側面に対して持続的発展に向けた地方分散型のモデル地域を目指しています。

真庭SDGsパートナー制度や真庭SDGs円卓会議など、参考にすべきことが多い研修でした。

福知山市は、平成25年、26年の台風や豪雨災害をはじめ、5年間で4回被害を受けました。主に河川の増水による浸水被害、集中豪雨による内水氾濫が多く、地域でどうするか考える自主防災組織の重要性、市民とともにつくる災害に強いまちづくりが必要だと認識しました。マイマップといった、地域の方々の知識や経験、さまざまな情報や国・府で取り組まれている「避難行動タイムライン」を反映した自治会ごとに作成する防災マップ作りが進められてきました。マイマップは住民避難難につなげる取り組みであって、究極のハザードマップはマイマップであるといえます。

今年には伊勢湾台風から60年。自分の命は自分で守る、自分の地域は地域で守ることを忘れず、災害への意識を高めることが重要であると認識させられました。

市民とともにつくる 防災マップを導入 福知山市



災害に強いまちづくり、地域づくり 人と防災未来センター

人と防災未来センターは、阪神淡路大震災の経験と教訓を継承し、防災・減災の実現のため必要となる情報を発信する施設ということで、学生たちの団体をはじめ、多くの人たちが訪れていました。館内では、展示資料や当時の映像、震災体験者の話などをもとに、一人ひとりが災害に対する正しい知識を身につけることができます。

管外研修報告書を作成

志摩市議会では、市政の発展と向上のため、常任委員会ごとに視察目的を定め、先進的な取り組みをしている自治体等を訪問し研修を受けています。

研修後は、参加した議員が研修レポートを作成し、報告書として1冊にまとめ、議員同士の情報共有や今後の議員活動に活用することとしています。

らも備蓄品を準備し、避難場所、経路等をはっきりと認識するなど、正しい知識を身につけて命を守る準備が重要と考えられます。

委員長 谷口 寛

教育厚生常任委員会

7/4
～5

研修先

滋賀県野洲市、奈良県奈良市

交通弱者のためコミュニティバスを導入

～野洲市

野洲市では、市内における交通空白地域の解消のため、平成2年に旧野洲町にて「市内じゅんかんバス」を1路線で開始しました。平成22年には「市内じゅんかんバス」を直営化し、コミュニティバス「おのりやす」として4路線に再編成しました。平成24年には増路線し、併せて乗り継ぎ制度を開始しました。平成28年には、バスの運行位置を確認できる「バスウオッチ」システムが導入されており、今年度は5路線から7路線へ再編成しました。

野洲市のこの施策は行

地域で子どもを守り育てる体制づくりの推進

～奈良市

政の熱意があれば、志摩市でも考えられるのではないかと感じました。しかし、現状の民間路線バス、個人での有料送迎事業者などとの共存をどう考えていくかが今後の課題と言えます。

奈良市では、学校・地域で子どもたちを育てることを目指し、「地域で決める学校予算事業」と「放課後子ども教室推進事業」を2本柱として、地域学校連携協働活動を推進しています。地域で決める学校予算事業は、市内21中学校区に設置されている地域教育協議会



委員長 大西 美幸



委員長 大西 美幸

産業建設常任委員会

7/4

研修先

道の駅「飯高駅」、
「熊野・花の窟」

道の駅「飯高駅」の取り組み

～松阪市

に委託しています。放課後子ども教室推進事業は、全43小学校に設置されている運営委員会に委託し、それぞれのコーディネーターを中心に協議・立案し、地域や学校の実態に応じた教育活動を展開するため、地域の人材や環境を生かした教育活動を企画・運営しています。さまざまな活動にたくさん子どもたちが参加しています。

飯高駅は、1990年7月に地域の特産品販売所としてオープンし、1993年4月には三重県下で1番目の道の駅として登録されました。2004年10月には法人登録され、日帰り温泉施設や地域食材レストラン、観

光・道路案内事務所を増設、翌年には特産品農産物等販売所とそば打ち体験施設を開業しています。県下18の道の駅の中で唯一「日帰り天然温泉のある道の駅」として人気があります。また、株式会社飯高駅は、松阪市より指定管理委託を受け、運営を行っています。

志摩市は直営のため、導入できる部分は限られますが、住民や観光客や道路利用者に対して、さらなる快適で自由な休息を提供することはできるのではないかと思います。

道の駅「熊野・花の窟」の取り組み

～熊野市

道の駅「熊野・花の窟」

は、有馬の村の住民が花の窟神社を訪れた参拝者へおもてなしをしたことが始まりとされています。世界遺産の花の窟神社に隣接しており、熊野古道や花の窟神社をはじめとする観光案内および観光情報の拠点として、道路利用者、観光客の休憩施設になっています。また現在では、世界遺産「花の窟」への訪問者に、休憩・飲食等を通じたおもてなし事業をお綱茶屋に行っています。

志摩市においても、食や食材を売り込む拠点を建設した際、その施設の目的を明確にした指定管理が必要となります。施設の利益を優先するのか、市内業者利益をもたらす施設とするのか、具体的な運営方針を多方面から検討する必要があると感じた研修でした。

委員長 中村 孝司

議員研修会

議員力アップのための効果的な質問・質疑

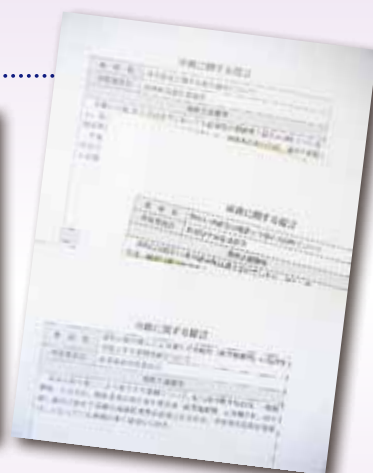
一般質問は議員としての監査能力や政策立案・実現能力を発揮する場であり、近年、住民からの注目も非常に高まっています。このことから、一般質問を含む議員の発言の機能について理解を深め、政策実現力・提案力の向上を図るため、議員力アップのための効果的な質問・質疑についての研修会を開催しました。研修会では、議会事務局研究会 共同代表 三重県地方自治研究センター 上席研究員の高沖秀宣氏から、長年にわたり三重県議会事務局職員として議員の一般質問に立ち会ってきた経験を踏まえ、議員力をアップさせるための効果的な質問・質疑のテクニックや、一般質問を活用してどのように議会力アップにつなげていくか等について、講義を受けました。また、過去の一般質問を題材に演習を行い、どのようにすればより効果的な質問になるのかについても意見交換しました。

研修会は、議員の政策形成能力や資質向上のため今後も定期的に開催します。



市議会から提言書を提出

総務政策・教育厚生・産業建設常任委員会では、2年間の委員会活動の総括として市政に関する提言を取りまとめ、市長へ提出しました。



総務政策常任委員会 「自主防災に関する取り組みについて」

教育厚生常任委員会 「障がい者就労の現状と今後の方向性について」

産業建設常任委員会 「家屋の取り壊しにより発生する廃材（産業廃棄物）の処理を可能とする条例改正について」

「しまし議会だより」はボランティア団体のご協力で、視覚障がいのある人に音訳（朗読）テープによる広報をお届けしています。

議会だより第 60 号の決算審査の記事に誤りがありました。深くお詫びし、訂正させていただきます。

4 ページ （誤）子どもの虫歯を守る （正）子どもを虫歯から守る

編集後記

令和元年も残すところあとわずかとなりました。議会では、執行部から出された議案を審議し、反対・賛成の討論を行い、可決または否決の判断を行っていました。議会広報特別委員会では、そういった内容を少しでも分かりやすく掲載するなど、「しまし議会だより」を市民の皆様方に興味をもって読んでいただく紙面づくりに努めています。賛否が分かれた場合の各議員の判断はどちらであったかも掲載していますので、皆さんも一緒に考えていただけると、議会をもっと身近に感じることができるかもしれません。

下村 卓也

■議会広報特別委員会

委員長 下村 卓也
副委員長 濱口 卓
委員 井上 幹夫
委員 前田 俊基
委員 橋爪 政吉
委員 大口 秀和
委員 坂口 洋